

荒木詩郎後援会ニュース

平成17年7月発行 No.13

後援会 会長 秋田 博

連絡先 荒木詩郎事務所 塩浜4-2 ハイタウン塩浜 50-601 Tel: 047-395-8171

みなさんの意見・要望を市政に生かそう

後援会が塩浜で連続のミニ懇談会を開催中

荒木後援会の新しい取り組みとして、「荒木詩郎と語る会」(ミニ懇談会)がもたれています。これは、地域住民の様々な要望を直接伺ってまとめあげるとともに、市川市政の現状をお知らせし、要望実現の方策を地域の方々と一緒に考え、行動していく契機としていくものです。

塩浜では地域を六つに分けて、4月第一住宅、5月第二住宅と開催してきました。会場は各集会所で、10～20人ほどの参加者がお茶を飲みながら懇談を深めてきています。そこで出された要望の一端を紹介します。

・団地周辺の不法駐車対策 ・団地周辺のホームレス対策 ・駐車場不足の解消 ・住民のモラル向上(不法駐車・犬・猫問題など) ・団地周辺の歩道の段差解消 ・塩浜橋先のクランク歩道の改善 ・猫実川沿い護岸の保全・整備) ・塩浜小中学校区の枠拡大 ・中学校部活の顧問の先生を正當に評価し行政として支援を ・ワンコインバスの路線は塩浜も通るように ・塩浜から市川塩浜駅へ行く際357号線を安全にわたれるように歩道橋か地下通路を ・行徳地域の福祉関係行政区割りを他地域と同様に(対象人口が多すぎる) ・行徳支所のボランティア向け施設の利用時間の延長 ・「荒木ニュース」をもっと読み易く など。

今後、6月は市営団地、7月第二住宅、8月賃貸住宅、9月第一住宅と続けていきます。別途ご案内しますので、みなさん是非ご参加ください。

塩浜で「移動市長室」を開催 5・18

5月18日(水)、千葉光行市川市長を塩浜地域に招いて荒木議員の同席のもと、移動市長室が開催されました。ハイタウン塩浜第一住宅の自治会が呼びかけて開催されたもので、塩浜地域の4自治会の役員の方々や、塩浜小・中PTA、子ども会、高齢者クラブ、コミュニティクラブなど、塩浜地域の関係者の方々約20人が集まって行われました。千葉市長から市川市の現状や、行徳地域の現状と市川市の取り組みについて約1時間にわたって講演いただき、その後地域の皆さんとの質疑応答が行われました。意見交換では、図書館のインターネット利用などのIT施策や、財政を黒字に転換させた行政手腕を高く評価する声から始まり、水に親しめる環境の整備、塩浜護岸壁の早期改修、震災時



の安全確保、塩浜小・中向側道路の駐車場化、30m道路の大型車両の迷惑駐車、塩浜橋付近の道路環境、学童保育の現状、国民健康保険の現状など、様々な問題について質疑が交わされました。いずれの問題にも千葉市長からは、真摯に、前向きな回答があり、今後具体的につめていくこととなります。

問題解消へ大きく前進—駐車場設置で市が予算化

5月31日に2回目となる「塩浜地域道路環境懇談会」が8号棟集会所でひらかれました。市川市本庁より5人、行徳支所3人、行徳警察署1人、そして塩浜地域からは4自治会、第一・第二管理組合、小・中PTAの代表が参加。荒木議員も出席しました。

昨年より上記団体で要望していた「塩浜地域の路上駐車・ホームレス対策」で、市側から「これまで通行規制のためチェーンを設置していた市道区間を駐車場化する予算が17年度実現した。管理・運営は地元の団体をお願いするのでその受け皿を早急につくってほしい」「その中心となる塩浜4自治会の合意のもとに代表を決めて頂き具体的な話し合いを進めたい」という提起でした。これを受けて6月17日に塩浜4自治会の代表が協議し合意がなされ、仮称「塩浜駐車場協議会」（構成メンバーは各自治会の役員計16人）が発足。代表に上野氏（ハイタウン塩浜第二住宅自治会会長）を選出しこれから駐車場設置と管理・運営の本格的な検討と交渉に入ることとなります。荒木議員も全力で実現に奮闘していきます。

2月議会と荒木議員の質問

2月議会では市民生活にとって重要な案件である市川市の予算案関連の審議が行われ、39の議案が成立しました。予算関連以外では、全国的にも余り例のない「防犯まちづくり条例」「防犯カメラ適正設置・利用条例」の2本の議案が成立しています。また、市長と特別職の退職金を引き下げる議案（市長3585万円→2919万円、助役1687万円→1518万円、収入役1101万円→954万円、教育長918万円→844万円など）が可決されました。

市民のために必要な予算措置・投資は積極的に行え—荒木議員の一般質問(概要)

【財政政策について】千葉光行市長は市職員の退職者不補充、民間委託の推進、無駄な事務・事業の見直しなど行政改革を積極的に推進するとともに、二次にわたる財政健全化3カ年計画により財政の建て直しに努めてきました。これによって市川市の財政は立派に健全化されており、緊縮型の財政から、もっと市民生活のために予算を投入する積極財政型に財政運営を転換すべきではないかという主張を行いました。積極財政に転換できる環境が整っているにもかかわらず、市川市の平成17年度の普通建設事業費は前年比マイナス7.8%の93億円に抑えられています。隣の浦安市と比較してみても、道路・下水道・公園・集会所施設など、まだまだ生活関連の投資が遅れています。市民のために必要な予算措置・投資をもっと積極的に行うよう求めました。

【自治会活動について】「地方自治は民主主義の学校」その教室にあたるのが各地域の自治会であり、そこで活動しているボランティアの方々とともに市川市をつくっていくことが必要であるとの視点で、自治会役員に対する行政情報の提供や、自治会くじの収益金の自治会支援への積極活用など自治会役員の目線に合わせた対応をとるよう求めました。

なお、6月議会では荒木議員は6月20日(月)に質問にたちました。その報告は次号でお知らせします。

荒木後援会が総会 **3/21**

「2年後には荒木再選を必ず実現しよう」と3月21日にハイタウン塩浜内の集会所にて「荒木詩郎後援会総会」がもたれました。荒木議員の市政報告会のあと総会を開催。1年間の後援会活動の成果と改善すべき点を出し合い、新たな活動方向とそれを推進する役員体制を全体で確認し閉会。引き続き会費制で手作り料理での懇親会で荒木議員を囲んでなごやかに懇談しました。なお、後援会長は引き続き秋田博さんが再任されました。